

第33回 国民文化祭・おおいた2018
 第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいた大会



10月6日(土)に開幕した「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」は、11月25日(日)閉幕しました。

期間中、多くのおみなさまのご来場ありがとうございました。

■ リーディング事業「なかつ水灯り 2018」
(高橋匡太によるライティングプロジェクト)



○ 「ムーンリバー」

会期：10月6日(土)～11月25日(日)

点灯時間：17時～22時

会場：日ノ出町商店街

○ 「新・一目八景」

会期：11月10日(土)～11月18日(日)

点灯時間：17時～22時

会場：一目八景展望台付近

■ リーディング事業「なかつ水灯り 2018」(まちなかアートプロジェクト)

名称	月日	場所	入場料	入場者数
障がい者アート作品展	10/6(土)～ 11/25(日)	小幡記念図書館研修室	無料	2,667人
中山忠彦展	10/6(土)～ 11/25(日)	木村記念美術館	有料	646人
国東時間のモノづくり	10/6(土)～ 11/25(日)	南部まちなみ交流館	無料	990人
北村直登+ATELIER WOKS	10/6(土)～ 11/25(日)	日ノ出町商店街店舗	無料	954人

■ 分野別事業

名称	月日	場所	入場料	入場者数
九州人形芝居フェスティバル	10/21(日)	中津文化会館 大ホール	有料	約600人
創作人形展	10/20(土)～ 10/21(日)	中津文化会館 小ホール	無料	約500人

小倉百人一首競技かるた全国大会	10/27（土）～ 10/28（日）	ダイハツ九州アリーナ	無料	約 690 人
ミュージカル「山国川奇譚 鶴市愛歌」	11/18（日）	中津文化会館大ホール	有料	約 860 人



九州人形芝居フェスティバル



小倉百人一首競技かるた全国大会



ミュージカル山国川奇譚「鶴市愛歌」

【問合せ先】

社会教育課 担当：吉川
(22-1111 内線 486)

障害者芸術・文化祭事業について



第33回国民文化祭・おおいだ 2018、第18回全国障害者芸術文化祭おおいだ大会は、「おおいだ大茶会」をテーマに、子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方も、誰もが参加し、楽しむことができる文化のお祭りです。

昨年、プレイベントとして開催した「障がい者アート作品展」をさらに充実させ、より多くの方に参加し、楽しむことができることを基本方針としました。

アート作品展、コンサートを通じて、障がい者が日々の活動を発表できる機会を熱望しているか肌で感じました。そして、多くの感動を共有できました。将来的には、福祉の枠を越えた障がい者芸術の発展を目指します。

～リーディング事業～まちなかアートプロジェクト

○障がい者アート作品展（10/6～11/25、小幡記念図書館）

障害者アート作品展は、国民文化祭のリーディング事業であるまちなかアートプロジェクトとして開催されました。中津市を含む周防灘地域を中心に、障がいのある方の制作したアート作品を公募・展示する作品展です。水・川・森・山・自然など、地域のゾーンテーマである「水の森」をイメージさせるような作品と自由テーマの作品を募集しました。（応募件数124点）

10月6日（土）10時から、中津市開会式を開催しました。また、開会式に先立ち、ややま園、もみじ園によるミニ音楽会を開催しました。10月31日（水）の10時30分からは、ミニ音楽会の2回目として、ややま園、月の輪学園が出演しました。入場者数2,667人



～関連イベント～

○「原野彰子」絵手紙展（10/15～10/26、市役所1階市民ホール）

中津市出身で、別府市を中心に活動している絵手紙作家の原野彰子氏と生徒さんの作成した絵手紙を市役所1階市民ホールに展示しました。

原野氏は幼い頃に脳性小児麻痺を患い、車いす生活ながら、自ら車を運転し、県内各地で絵手紙を教えている活動的な方です。

また、11月11日（日）の社協主催「第10回みんなのふくしまつり」（10：00～14：00、教育福祉センター）では、原野彰子さんによる絵手紙ワークショップも行いました。



○中津市障がい者ふれあいコンサート（10/24 13：30～、教育福祉センター）

市内の障がい者の方々による演奏やダンス、手品などを実施。特別ゲストとして熊本を中心に活動している寝たきりのお笑い芸人あそどっぐ氏によるお笑いライブなども開催しました。入場者数 200 名。



○映画鑑賞（10/27 13：00～、教育福祉センター）

鹿児島県の知的障がい者施設しょうぶ学園の日常を描いたドキュメンタリー「幸福は日々の中に。」を上映。10月26日から11月4日まで大分県立美術館で開催されている「1人ひとりの可能性を活かす仕組みを考えるアート展～Action～障がい者アートってなんだ？」の中で開催される映画上映会でも上映され、県の企画よりも先に大分まで出かけずに中津で見ることができました。入場者数 70 名。

■応援事業

○いずみの園フェスタ（10/13 10：00～14：00、いずみの園）

今年は中津支援学校音楽部が出演しました。また、障害者施設による出店も多数ありました。

○第10回みんなのふくしまつり（11/11 10：00～14：00、教育福祉センター）

障がい関連の企画として原野彰子さんによる絵手紙ワークショップ、手話や点字の体験、障害者施設による出店などがありました。